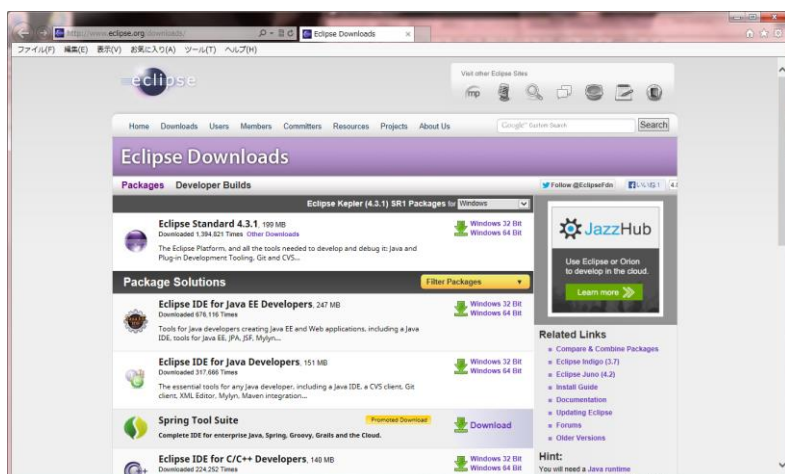


【Android 開発環境のダウンロードとインストールについて】

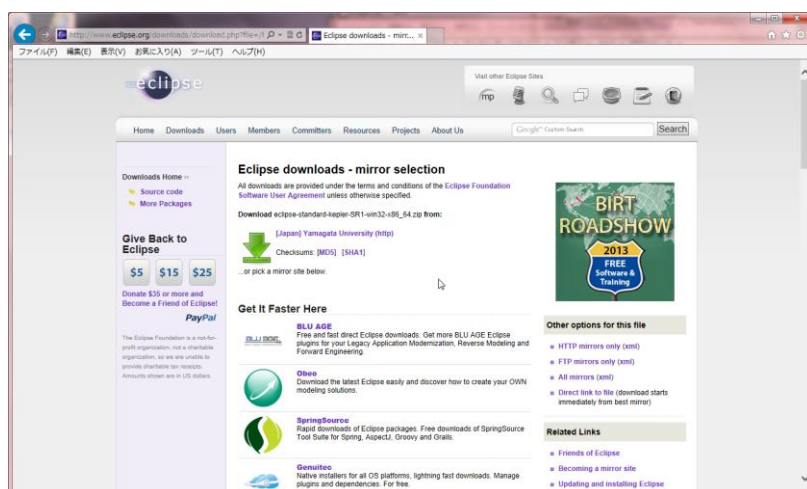
本書発刊以降、Android 開発環境のバージョンアップが繰り返され、実際の画面や操作と本書紙面とで異なる場合があります。Eclipse や Android SDK のダウンロードやインストールについてもさまざまな問題(バグも含め)が表面化していますので、現状での解決方法について以下にまとめましたのでご確認ください。

●Eclipse のダウンロード方法

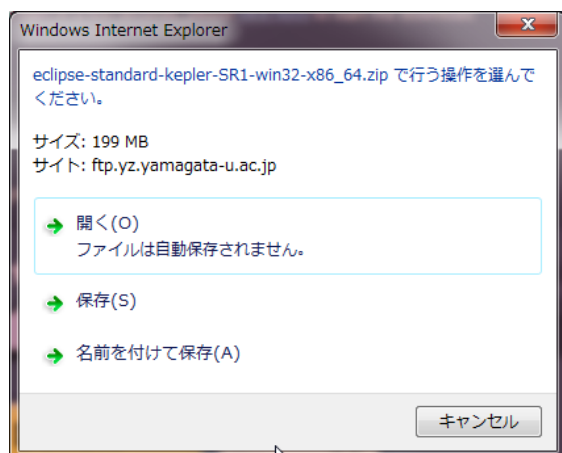
- ①「<http://www.eclipse.org/downloads/>」にアクセスして、「Eclipse Standard 4.x.x」の「Windows 32Bit」、または「Windows 64Bit」のリンクをクリックします。



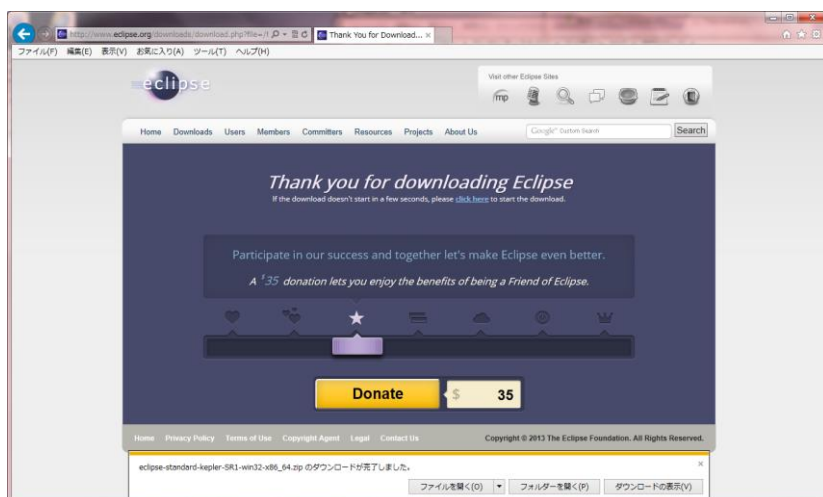
- ②ダウンロードの矢印のアイコンをクリックします。



- ③[名前を付けて保存]をクリックし、保存先のフォルダーを指定してダウンロードを開始します。

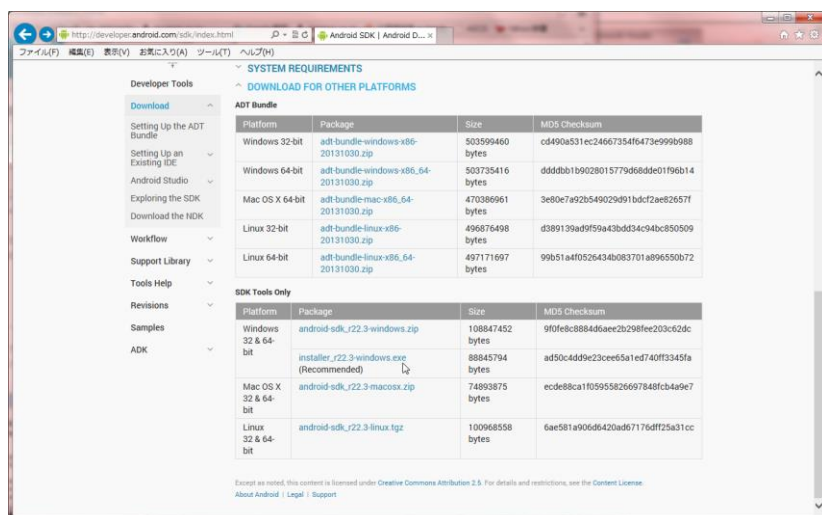


- ④ダウンロードが完了したら、[フォルダーを開く]をクリックし、ダウンロードしたファイルを解凍します。

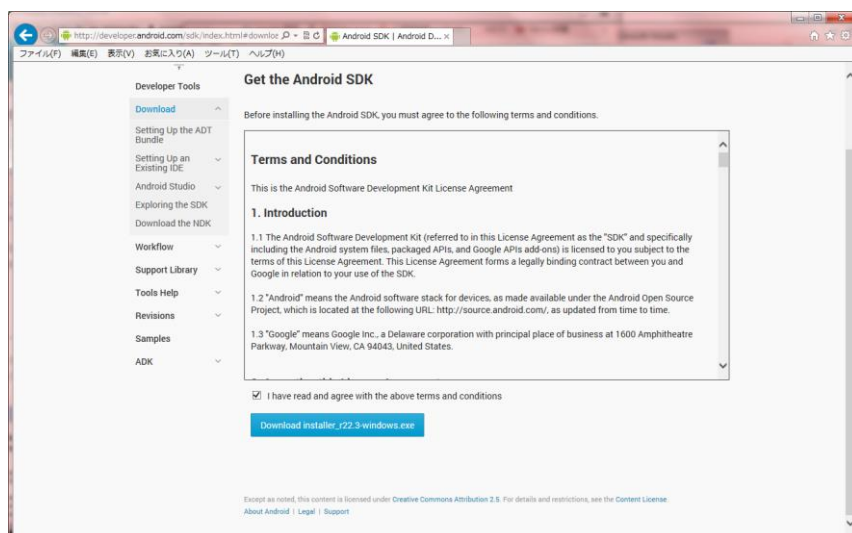


●Android SDK のダウンロード

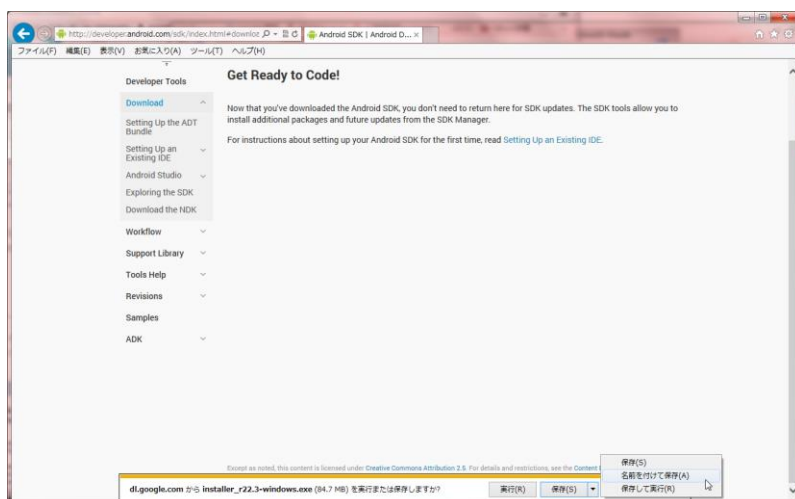
- ①「<http://developer.android.com/sdk/index.html>」にアクセスし、「DOWNLOAD FOR OTHER PLATFORMS」の項目を展開します。
- ②「SDK Tools Only」の「installer_r2x.x-windows.exe」のリンクをクリックします。



- ③「I have read and agree ...」にチェックを入れて「Download installer_r2x.x-windows.exe」をクリックします。



- ④[保存]ボタンをクリックして[名前を付けて保存]を選択し、保存先のフォルダーを指定してダウンロードを開始します。



- ⑤ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたインストールプログラムを起動して、インストールを行います。

●Android SDK のインストールプログラムを進めることができない場合

Android SDK のバージョンによっては、64Bit 版にバグがあり、インストールプログラムが Java SDK を認識できずに、インストールの操作を進めることができないことがあります。

この件に関しては、以前のバージョンから発生していますが、解決されない状態で新規のバージョンがリリースされ続けています。

ネット上では、Windows の環境変数の設定やレジストリの書き換えを行うなど、様々な情報が錯綜していますが、いずれの方法を使ってもうまくいかないことがあります。

根本的な原因は、Cドライブの「Windows」→「System32」フォルダー内に格納されている java.exe ファイルが認識されるためです。このファイルは、Java SDK をインストールしたときに一緒にインストールされる java.exe とはまったく異なるファイルなので、インストーラーがこのファイルを誤認識してしまい、結果として Java SDK がインストールされていないと判断されて、インストール操作を進められなくなってしまいます。

(解決策)

解決策として、前記の「Windows」→「System32」フォルダー内に格納されている「java.exe」のファイル名を「java.exe.aaa」のように異なるファイル名（例では拡張子を変えています）にしたあとで、再度インストールプログラムを起動すれば、多くの場合、Java SDK が認識されて、先へ進めるようになります。

(それでもうまくいかない場合)

以上の操作を行ってもうまくいかない場合は、インストールプログラムではなく、zip 形式の圧縮ファイルをダウンロードする方法があります。この場合は、次のようにダウンロードを行います。

- ①「<http://developer.android.com/sdk/index.html>」にアクセスし、「DOWNLOAD FOR OTHER PLATFORMS」の項目を展開します。
- ②「SDK Tools Only」の「android-sdk_r2x.x-windows.zip」のリンクをクリックして、ファイルをダウンロードします。
- ③ダウンロードしたファイルを解凍します。

インストールプログラム版の Android SDK も、圧縮ファイル版の Android SDK も、Eclipse に認識させる方法は、一緒です。本書の 64 ページ以降の操作を行って、Android SDK の位置を登録してください。

●Eclipse から Android SDK Manager を起動できない場合

前記のインストール時の不具合で挙げた原因と同じ原因で、Eclipse から Android SDK Manager が起動できない場合があります。この場合も、「Windows」→「System32」フォルダー内に格納されている「java.exe」のファイル名を「java.exe.aaa」のように異なるファイル名（例では拡張子を変えています）に変更すれば、起動できることが多いようです。なお、インストール時に、すでに名前を変更してある場合は、この問題は起きないようです。

以上の不具合は、多くの場合、64Bit の環境において発生する模様です。

●仮想デバイスの作成時の注意

新しいバージョンでは、本書 66 ページの操作におけるメニューの名称が「ADT Manager」から「Android 仮想デバイスマネージャー」に変わっていますので、この項目を選択して、仮想デバイスの作成を行ってください。

なお、現在のバージョンでは、仮想デバイスの新規作成画面に[装置]という項目が追加され、対象のデバイスを選択するようになっていきますので、対象のデバイスを選択した上で、操作を進めてください。

●補遺

Android SDK の find_java.bat ファイルを書き変える方法もありますが、これは、Android SDK をインストールしたあとの処理なので、インストール時に行うことはできません。

なお、system32 にある Java.exe そのものを無効化して支障がないかどうか確認がないので、Eclipse を使用しない場合は、java.exe の名前をもとに戻しておくようにした方がよいかと思います。

<本書サポートサイト>

<http://www.shuwasystem.co.jp/support/7980html/3372.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>